

算数

わり算の筆算を考えよう

4年2組
授業者 河合 千穂

■ 単元の目標

- 除数が2位数の除法計算のしかたを、既習の除法計算のしかたをもとに進んで考えようとする。
- 見積もりをもとに、仮商のたて方や修正のしかたについて考えることができる。
- 除数が2位数の除法計算を正確に筆算でできる。
- 除数が何十の除法計算のしかたを理解することができる。
- 除数が2位数の除法の筆算のしかたを理解することができる。

■ I C T活用の視点

○ 確かな学力をはぐくむために

計算の正確さを向上させるためには、反復練習が欠かせない。しかし、プリントによる練習では限られた問題数が物足りない児童や、計算に時間がかかりやり残してまうために達成感を味わうことができない児童が見られる。そこで、DSを活用することによって、どの児童にもあった形で練習を進めるようにし、確実に基礎基本の習熟を図る。

○ 学び合い高めえる意見交流活動をするために

「DS教室」と電子黒板を使って、自分の考えを紹介し、相手に分かるように筋道立てて説明することによって、意見交流活動を充実させる。

■ 本時の授業の概要

本時の学習は2～3位数を2位数でわる計算のまとめとして、自分の間違えやすい点を再確認し、より正確な計算ができるようにすることを目標としている。DSの問題を解き、首位に商がたたない筆算のしかたや、間に商がたたない位のある筆算のしかた、過大商や過小商をたてたときの仮商修正など、計算をする上でのそれぞれの課題を解決できるようにする。

本時の目標

自分や友達の間違いについて考え、間違いが起った背景や、その解決方法について筋道を立てて説明できる。

学習活動	指導上の留意点
1.本時のめあてを確認する	より正確に筆算で割り算をするために、間違いやすい問題の解決方法を話し合おう。
2.各自計算をする。 <ul style="list-style-type: none">● 「DS教室」で割り算の計算をする。● 間違いの多かった問題についてどこを間違えたのかを予測し、DSに書く。	つまずきやすい割り算の計算問題を用意しておく。具体的に記述するようにする。「DS教室」で間違いの多かった問題を確認する。
3.話し合い、高め合う。 <ul style="list-style-type: none">● どこに気をつければ間違いをなくすことができるのか、話し合う。	電子黒板を活用し、各自の考えを全員で確認する。「位」「商」「たてる」「引く」などの言葉を使って、相手に分かりやすく発表するようする。友だちにアドバイスする形でどこに気をつければよいかをみんなで考えるようにする。
4.本時のまとめを行う。	必要に応じてDSに書き込んだ全員の考えを電子黒板に映し出し、考えを比較できるようにする。
	○自分や友達の間違いに対する解決方法について筋道を立てて説明できたか。 児童の言葉でまとめるようにする。